Talea
Giro Plus

取扱説明書

はじめに

このたびはTalea Giro Plus（以下本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、コーヒー豆を使ってエスプレッソやコーヒーを抽出するのに適しており、
スチームやお湯を供給する装置も備えています。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用の前に必ずお読みください。

一般事項

以下に記載した原因による損傷は責任を負いかねます。

● 本来の目的に反した使用による場合
● 修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合
● 電源コードを改造された場合
● 本製品のどこかを改造された場合
● オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合
● 除石灰作業を行なわなかった場合や本製品を0℃以下の環境で使用、もしくは保管された場合

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。
大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかり守ってください。

製造番号について

本体サイドドア内側に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。

シールは絶対に剥がさないでください。
これらの表示内容は全て、サービスセンターにメンテナンスを
ご依頼される際に必要となる重要な情報です。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

● **本製品のご使用前に、取扱説明書や同梱の印刷物を必ずお読みください。**
● **取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、必要なときにお読みください。**
● **ご不明な点は、弊社の技術・流通センター（TEL：048-949-2888）までご連絡ください。**

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**	誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容です。

絵表示の例

⚠	この記号は「警告・注意」の内容です。 △記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
⃠	⃠記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
●	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警　告

電源は「15 A　125V」と記載（刻印）されている壁面のコンセントから直接お取りください。

タコ足配線をすると火災の原因になります。

電源は交流 100 V をご使用ください。

交流 100 V 以外の使用は火災の原因になります。

アース線を確実に取り付けてください。

アース接続をしていないと、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電する恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。

感電、ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。

ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグ、コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、はさみ込んだり、たばねたり、加工したり、重いものをのせたり、火気の近くで使用しないでください。

コードが破損をして感電、火災の原因となります。

本体、電源プラグ、コードを水につけたり、水をかけないでください。

感電、ショートの恐れがあります。

電源プラグやコードが痛んだり、コンセントへの差込みがゆるい時は使用しないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

使用していないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり､内蔵のパーツに触れないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

子供など取扱いに慣れていない人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。

ヤケド、ケガの原因となります。

使用中は、熱を帯びる部分に手や電気コードを触れさせないでください。
（コーヒー抽出口やスチーム給湯ノズル、カップウォーマー等）

ヤケド、破損の原因となります。

スチーム・給湯ノズルの噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。

ノズルから高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、ヤケドの原因となります。

製造元が推奨する付属機器以外は決して使用しないでください。

感電、火災、破損の原因となります。

本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。

火災、故障の原因となります。

万一、異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注　意

不安定な場所に設置しないでください。

ヤケド、破損の原因となります。

水や火気の近くで使用しないでください。また壁や家具の近くで使用しないでください。

故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。

水タンクにはお湯や熱湯を入れないでください。

製品が正常に稼働しない恐れがあります。

お手入れの前には、コンセントから電源プラグを外してください。パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。

ヤケドの原因となります。

洗剤をご利用の場合は台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でふいてください。

破損の原因となります。

マシン内部に付着した石灰質（スケール）の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を定期的に行ってください。

作業をおこたると故障の原因になります。

使用後は必ずお手入れをしてください。

お手入れをおこたると故障の原因になります。

電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らさないでください。

ケガ、破損の原因になります。

屋外では使用しないでください。

高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。

本製品に衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

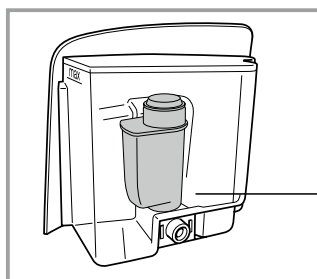
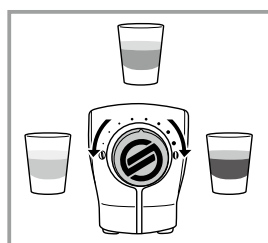
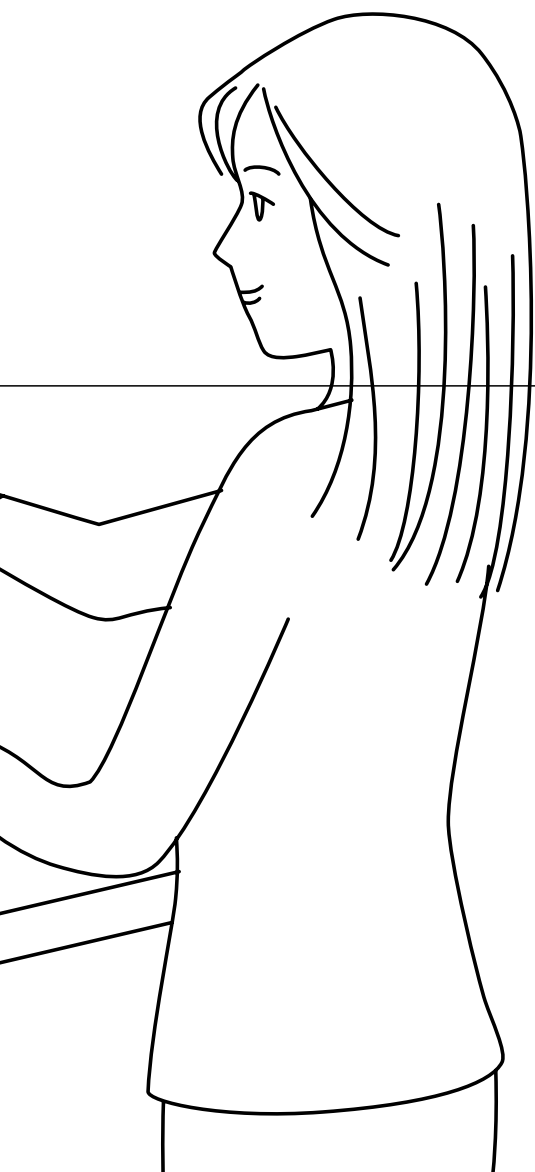
万一、火災の場合は炭酸ガス消火器をお使いください。

水や粉末消火器は使用しないでください。

設置場所

- 安定した丈夫で平らなところに置いてください。
- 水のかかる場所には置かないでください。
- 温度10℃～ 40℃、湿度90%以下の環境で使用してください。
- 0℃以下になる場所で使用する場合、弊社技術・流通センターまでご相談ください。安全点検を行います。
- 湿気が少なく、風通しのよいところに置いてください。
- 火気のある場所、ほこりっぽいところ、オイルミストが浮遊する場所では使用しないでください。
- 本製品を他の機器の上に置かないでください。
- 熱源の上に置かないでください。また熱源の近くに置くときは10cm以上離してください。
- 可燃物、危険物の近くに置かないでください。

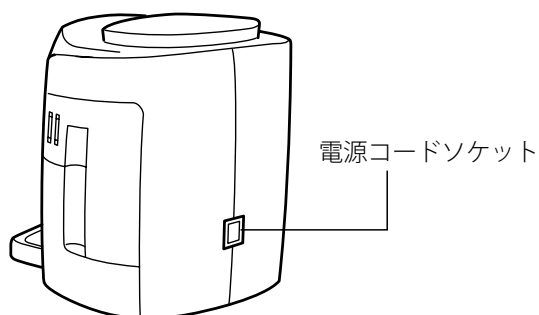
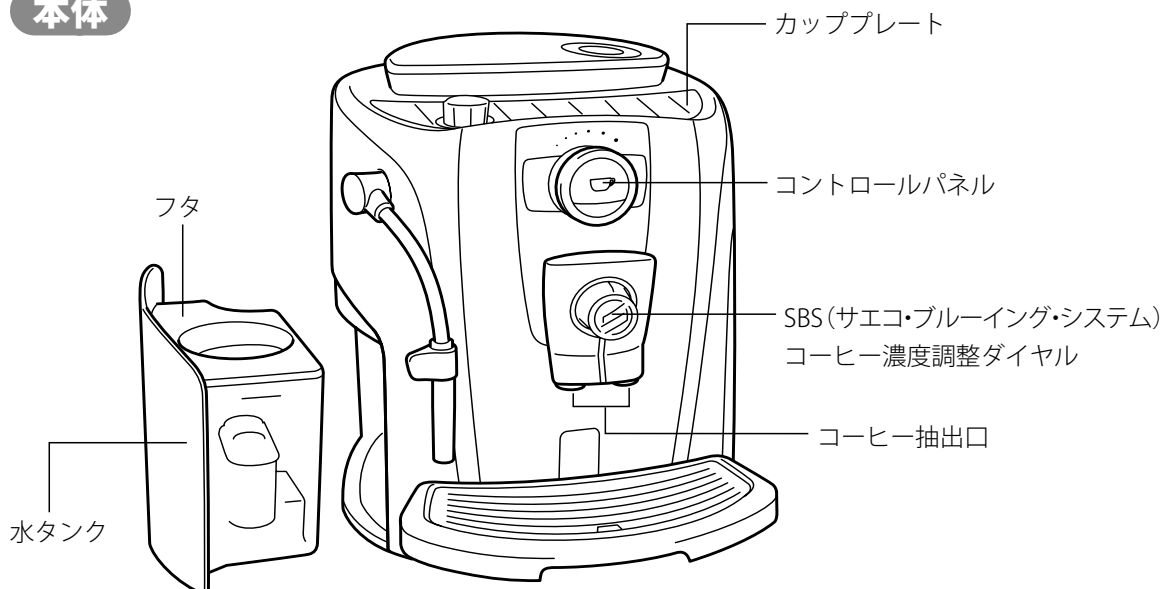
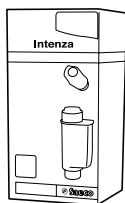
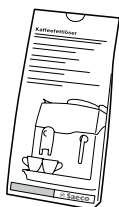
Talea Giro Plusの特長

コーヒーの抽出は、コントロールパネルのボタンを押すだけ。

お好みに合わせて特別なメニューを作ることができます。
設定できること
・一杯あたりのコーヒー豆の量
・コーヒーのできあがった量

メンテナンスが簡単
お手入れの必要な部品が簡単に取り外しできます。

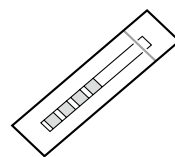
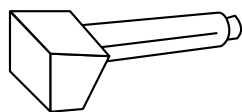
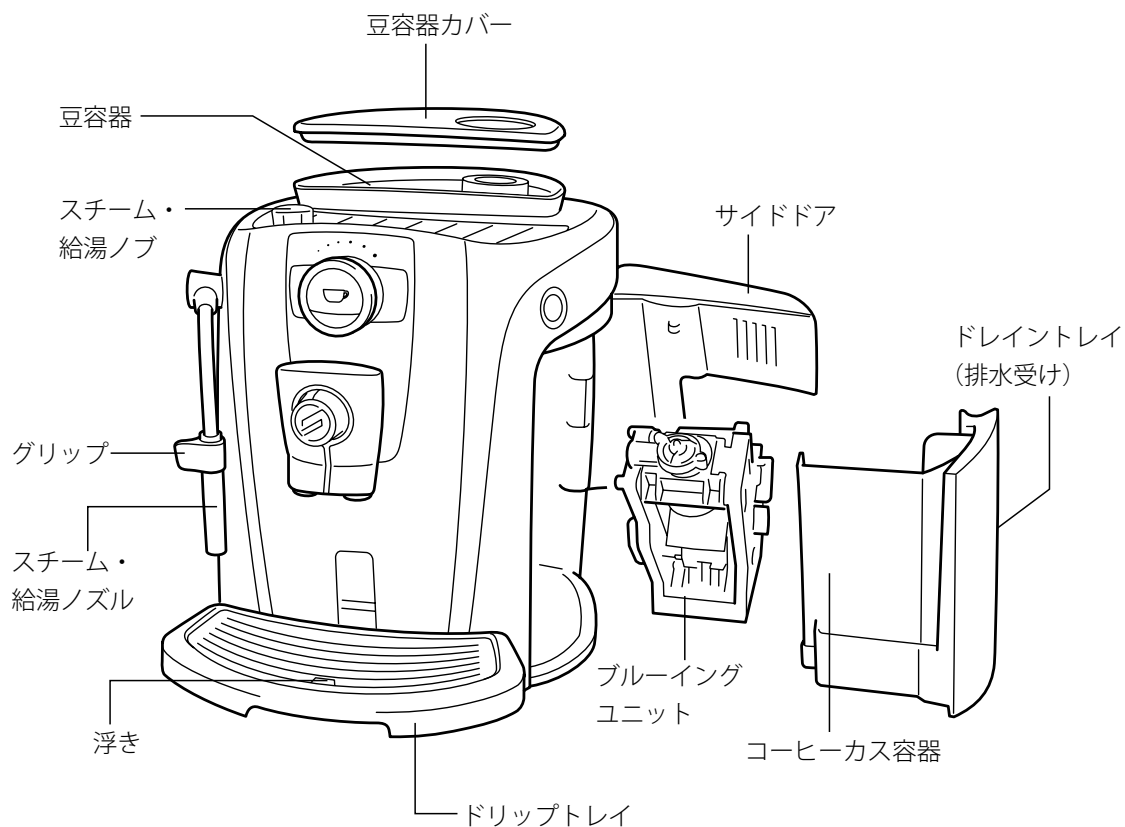
ドリップトレイは高さを
調節できます。

各部の名前

本体

付属品

インテンザ

クリーニング
タブレット

デカルリキッド

水硬度測定紙

豆容器カバー
豆容器
スチーム・給湯ノブ
サイドドア
ドレイントレイ（排水受け）
グリップ
スチーム・給湯ノズル
ブルーイングユニット
浮き
コーヒーカス容器
ドリップトレイ

メジャースプーンと
豆の挽き粗さ調節キー

グリース
（サンプル品）

電源コード

コントロールパネル

コーヒー抽出量設定ダイヤル
1 杯あたりのコーヒー抽出量の調節を行います。

カス捨て警告ランプ
このランプが点灯したらコーヒーカスを取り除いてください。

コーヒーボタン
ゆっくり点滅：コーヒー 1 杯を選択中
(ボタンが一度押された状態)
素早く点滅　：コーヒー 2 杯を選択中
（ボタンが二度押された状態）

適温ランプ
点灯　　　　：マシンが使用できる状態。
ゆっくり点滅：マシンがスタンバイ状態（P12 参照）。
素早く点滅　：マシンが準備中の状態。

給湯ボタン
点灯：給湯機能を選択中
消灯：スチーム機能を選択中

除石灰ボタン（P39 参照）

除石灰表示ランプ
このランプが点滅したら除石灰作業をしてください。

コーヒー豆量（アロマ）・粉末コーヒーボタン
1 杯あたりのコーヒー豆の量 (アロマ) をマイルド、ミディアム、ストロングの 3 段階で設定できます。
または粉末コーヒーの選択。

警告ランプ
点灯　　　　：次のいずれかの状態です。
・ 水タンクに水がない。
・ 水タンクが奥までしっかりとセットされていない。
・ ドレイントレイの排水が溜まっている。

メモ ドレイントレイの排水は、スチーム・給湯の使用回数とコーヒーを抽出した回数によりカウントされています。排水が溜まっている場合は、ドレイントレイを10秒以上外してからマシンへセットしてください。

ゆっくり点滅：次のいずれかの状態です。
・ ブルーイングユニットが装着されていない。
・ カス容器がセットされていない。
・ 豆容器カバーが閉まっていない。
・ サイドドアが開いている。
・ スチーム・給油ノブが元の位置に戻っていない。
素早く点滅　：ボイラー内に空気が溜まっています。給湯機能を使ってお湯を出してください。（P28 参照）

メモ 除石灰と カス捨てランプが交互に点滅するときは、一度電源を切り30秒後にもう一度電源を入れてください。それでも点滅を繰り返すときは弊社技術･サービスセンターへご連絡ください。

メモ コーヒー抽出量設定ダイヤルの目盛はあくまで目安です。抽出を途中で止めたい場合は、再度コーヒーボタンを押してください。

STAND-BY・節電機能

このマシンはエネルギー削減を考慮した製品として開発されています。60分間、マシンに対して何の操作も行われないと自動的にスタンバイモードに切り替わり、内部のボイラーはそれ以上加熱せず、ゆっくりと点滅する適温ランプを除いた全てのランプが消灯します。
電力消費量は最低レベルまで引き下げられます。
節電機能を解除し、再び使用を開始するためには、コーヒーボタンを１回押してください。
内部ボイラーが冷えている場合は、適温ランプが素早く点滅を開始します。コーヒー抽出をする適切な温度になると、適温ランプは点灯へかわります。
完全に内部ボイラーが冷え切ってしまっている場合は、適温ランプが素早く点滅を開始し、自動で本体内部の水系路の洗浄を行った後、適温ランプは点灯へとかわります。

初めて使うときの準備

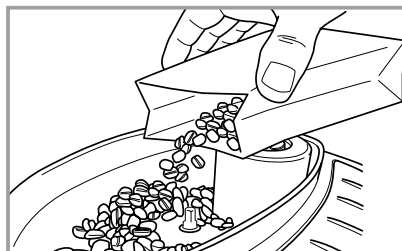
ご利用の前に

⚠ 警告	セットアップする前に、電源コードがコンセントから抜かれた状態になっていることを確認してください。準備ができていない状態で電源が入っていると故障の原因になります。

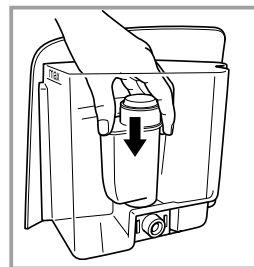
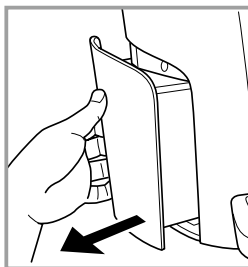
1　豆容器カバーを外して、コーヒー豆を入れます。

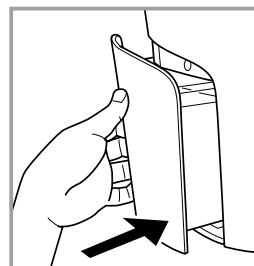
カバーを閉じます。

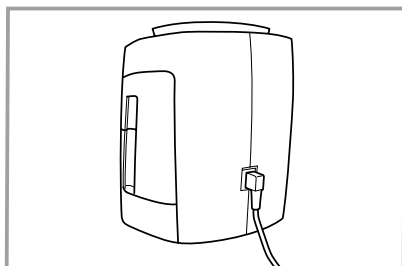
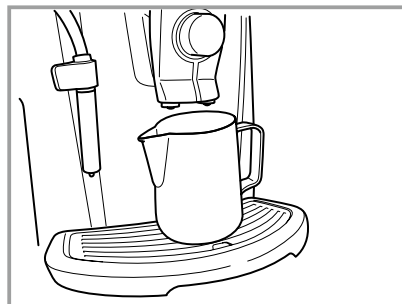
!注意 コーヒー豆以外のものは入れないでください。

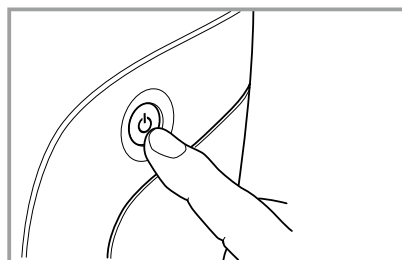
!注意 豆容器の中に水がかからないようにしてください。

2　水タンクを取り外し、インテンザを装着します。

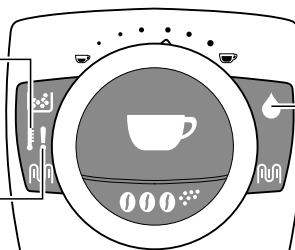
[☞ 17p　インテンザの装着]

!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

3　水タンクに水を入れて、本体に取り付けます。

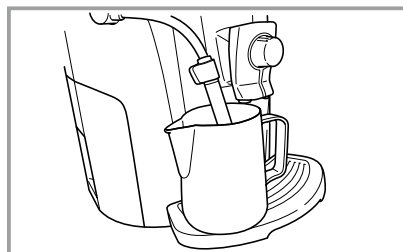
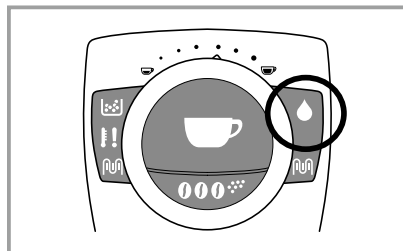
!注意 水の量はMAXの下までくるように入れます。

4　本体に電源コードを取り付け、コンセントに差し込みます。

!注意 濡れた手で触らず、根元まで差し込んでください。

5 コーヒー抽出口の下に容器を置きます。

6 電源ボタンを押します。

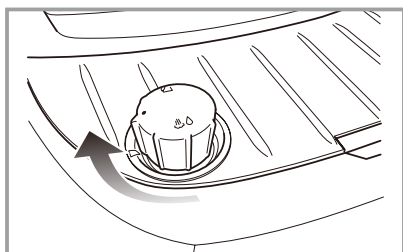
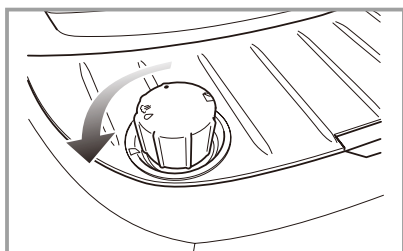
適切な温度に 達すると、自動で本体内部の水経路の洗浄を行います。この間ライトが反時計回りに点滅します。
洗浄が終わると適温ランプが点灯します。
これで準備が完了しました。

適温ランプ🌡が点灯せず、警告ランプ❗が早い点滅をし、給湯ボタン💧が点灯した場合は、次のページの空気抜き作業を行ってください。

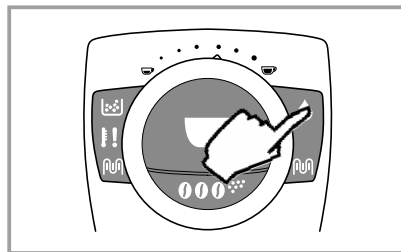
▶ 次頁へ

空気抜き

適温ランプ🌡が点灯せず、警告ランプ❗が早い点滅をし、給湯ボタン💧が点灯した場合は、空気抜き作業を行ってください。

1 スチーム・給湯ノズルの下に空の容器を置いてください。

2 給湯ボタン💧が点灯していることを確認してください。

3 スチーム・給湯ノブを♨💧の位置まで回し、安定してお湯が供給されるまでお待ちください。

警告

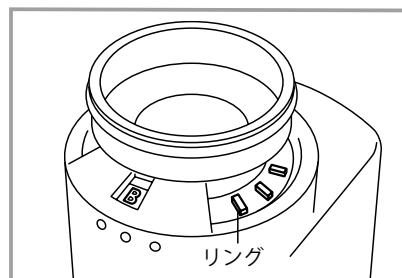
はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてお湯が出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。
ヤケドの原因になります。

4 お湯が安定して出てきて、警告ランプ❗が消えたらスチーム・給湯ノブを●まで戻してください。

5　給湯ボタン💧を押します。

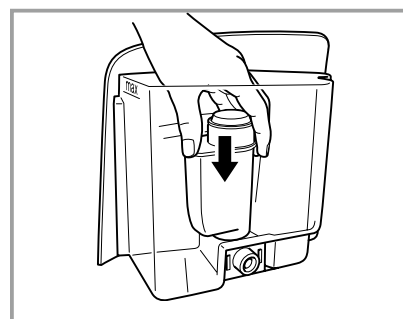
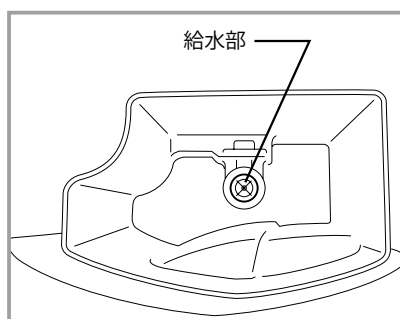
給湯ボタン💧が消灯します。

インテンザの装着

インテンザは水道水のいやなにおいを取り除き、マシン内部への石灰質の付着を軽減するためのフィルタです。インテンザを装着して正しく設定することで、除石灰サイクルの頻度を下げることができます。

メモ **詳しい取り付け方法は、インテンザの取扱説明書を参照してください。**
インテンザは、弊社ホームページからご購入いただけます。
http://www.saeco.jpn.com

1 **インテンザをパッケージから取り出します。インテンザの底面にあるリングを回して、ろ過レベル（A ～ C）を選択します。**

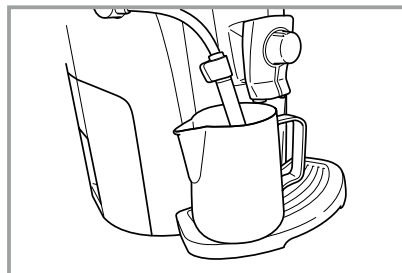
A：軟水用
B：中程度（出荷時設定）
C：硬水用

2 **大きめの容器に冷水を入れます。インテンザを逆さにして水の中に入れ、インテンザの側面を軽く押して気泡が出なくなるまで待ちます。**

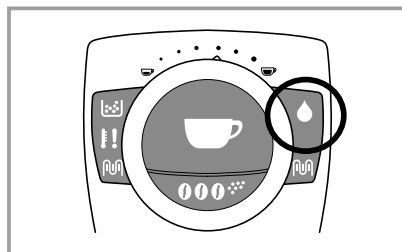
3 **水タンクの底の給水部にある小さな白いフィルタを取り外し、インテンザを取り付けます。**

メモ 給水部に、インテンザを垂直に差し込みます。インテンザがしっかり取り付けられていることを確認してください。

4 **水タンクに水を入れ、フタをします。**

!注意 インテンザが完全に水没するまで水を入れてください。
!注意 水タンクのフタは確実に取り付けてください。

5 水タンクをマシン本体に取りつけ、スチーム・給湯ノズルの下に500cc 程度の容器を置きます。

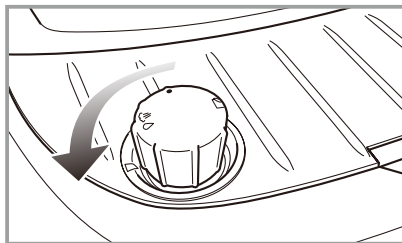
注意　操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。ヤケドの原因となります。

6 給湯ボタン💧が点灯していることを確認してください。

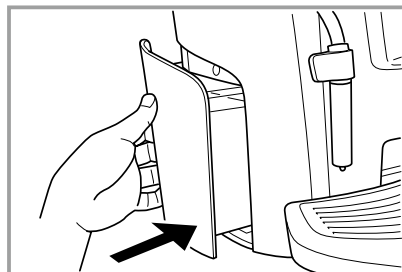
点灯していなければ💧ボタンを押して点灯させせます。

7 スチーム･給湯ノブを♨💧の位置まで回します。

スチーム･給湯ノズルからお湯が出てきます。
水タンクの水をすべて排出してください。

途中で容器にたまった水を捨てる場合は､スチーム・給湯ノブを ● に回してください。排出が一時的に止まります。

再度容器をセットしたらスチーム・給湯ノブを♨💧に回すと排出を再開します。

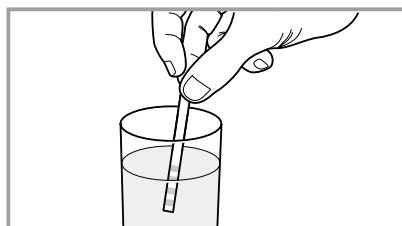
8 スチーム･給湯ノブを ●の位置まで戻します。

9 水タンクに水をMAXのすぐ下まで補充し、本体に取り付けます。

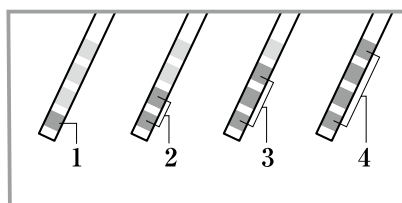
!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

水の硬度の設定

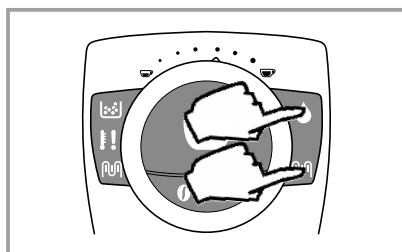
この機能を使って使用する水のレベルを設定すると、マシンが適切な時に除石灰表示ランプを点灯させ、作業を促します。マシンには１から４までのレベル設定が可能です。

1 水の硬度を付属の水硬度測定紙を使って測定します。

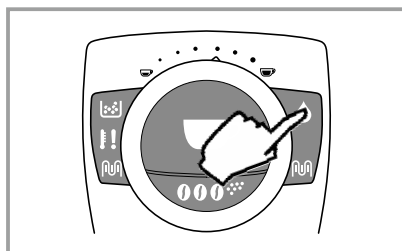
使用する水の中に測定紙を１秒間つけます。

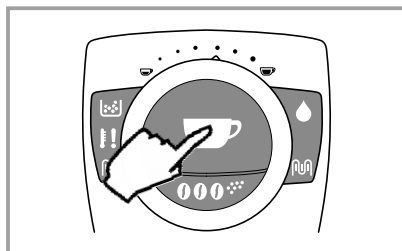
メモ 水硬度測定紙は一度しか測定できません。

2 変化した色を見て１～４の数値（水の硬度）を確認します。

メモ 本製品の初期設定は１に設定されています。日本国内における使用であれば、１で問題ありません。

3 給湯ボタンと除石灰ボタンを同時に６秒以上押し続けてください。

適温ランプが消灯し、コーヒー豆量ランプのみ点灯します。水硬度設定プログラムモードになります。

4 コーヒー豆量ランプの点灯の数で水硬度を設定します。

ランプ点灯数	1個	2個	3個	3個＋粉
水硬度	1	2	3	4

水硬度測定紙の結果と同じ水硬度になるまで給湯ボタンを数回押します。

5 設定レベルを記憶させるためにコーヒーボタンを３秒以上押し続けてください。

適温ランプが点灯します。

コーヒーを入れる前の調整

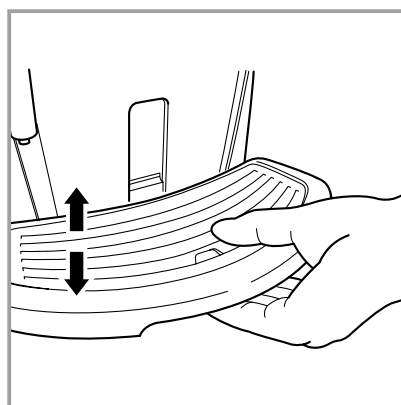
コーヒーの濃さを調整する

SBS（サエコ・ブルーイング・システム）

ダイヤルを回すだけで、抽出するコーヒーの濃度を
マイルド・ミディアム・ストロングに無段階で調整できます。
抽出している途中でも、ダイヤルを回せばすぐに選んだ味わいになります。

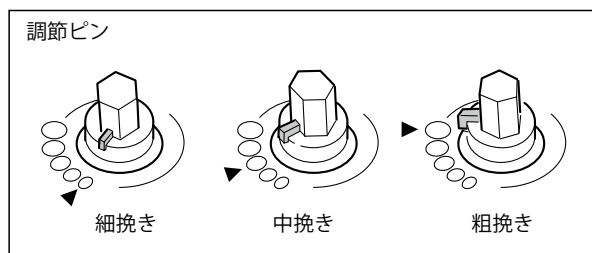
メモ 豆の挽き粗さが細かい場合、ストロングの位置にすると、コーヒーの抽出が悪くなる（細い、遅い）場合がありますが故障ではありません。ダイヤルを左（マイルド）へ回してください。

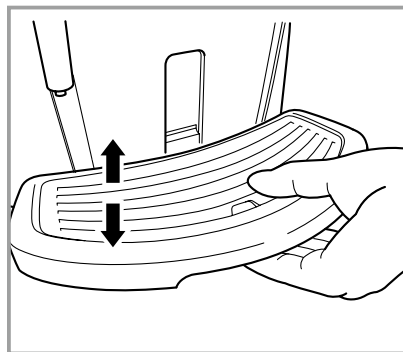
ドリップトレイの高さを調節する

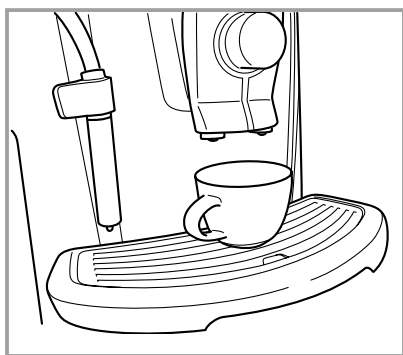
カップの高さに合わせてドリップトレイの高さを調節できます。

豆の挽き粗さを調節する

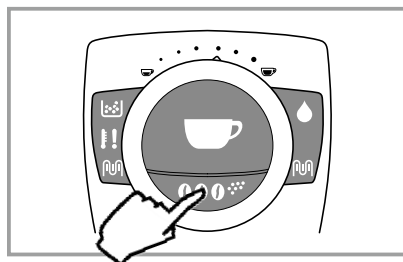
豆容器内のピンを使って、豆の挽き粗さを調節できます。
付属の豆の挽き粗さ調節キーで、豆容器内にある調節ピンを下に押しながら回します。一度に1刻みずつ調節してください。

メモ 細挽き、中挽き、粗挽きが選択できます。２～３カップ程度のコーヒーを抽出し、味わいの変化を確認してください。

初めてお使いになるときの準備

コーヒーを入れる

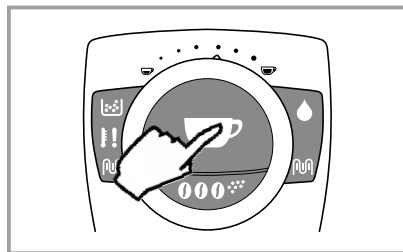
1 カップの高さに合わせてドリップトレイを調節します。

2 カップを置きます。

1杯分ならカップを一つ、2杯分ならカップを二つ置いてください。

3 ボタンを押してコーヒー豆の量(アロマ)を設定します。

メモ 1杯あたりの豆の量をマイルド、ミディアム、ストロングの3段階で設定できます。

4 ボタンを押します。

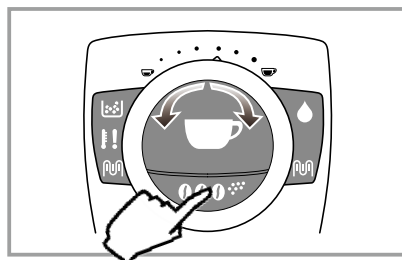
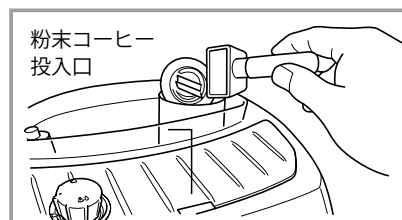
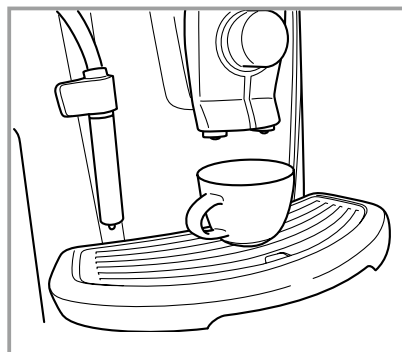
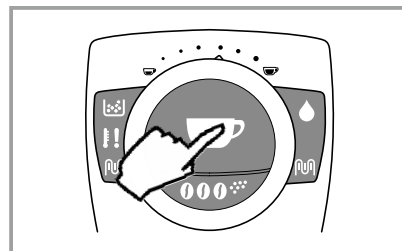
自動的に抽出が始まります。

メモ 1回押すと1杯（ゆっくり点滅）
2回押すと2杯（早い点滅）

メモ 2杯目分抽出するとき、カップを2つ、ドリップトレイに置いてください。連続して抽出動作を行ないます。1杯目を抽出した後、豆挽きのために抽出を一時中断しますが、しばらくすると再度抽出が始まります。

粉末コーヒーによる抽出

マシンは粉末コーヒーを使用してコーヒーをいれることもできます。
粉末コーヒーは豆容器の横にある投入口に入れてください。コーヒー豆やインスタントコーヒーを使用することはできません。

⚠ 警告	粉末コーヒーは抽出したい時のみ、所定の投入口に入れてください。 一度に付属のメジャースプーンすりきり一杯のコーヒーを入れてください。 同時に二杯分のコーヒーは抽出できません。

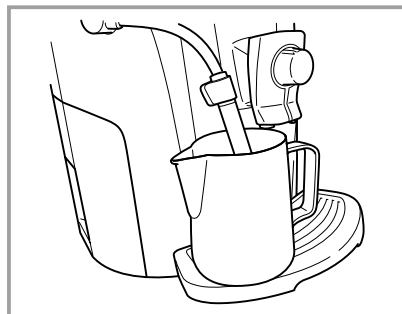
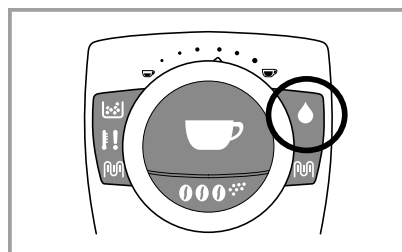
1 ダイヤルを回してコーヒー抽出量を設定してください。粉末コーヒーアイコンが点灯するまでアロマボタンを押してください。

2 一度に付属のメジャースプーンすりきり一杯の粉末コーヒーを入れてください。この場合、同時に二杯分のコーヒーは抽出できません。

3 コーヒー抽出口の下にカップを一つ置いてください。

4 ボタンを押します。

カプチーノを入れる

 注意

操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。
ヤケドの原因となります。

メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

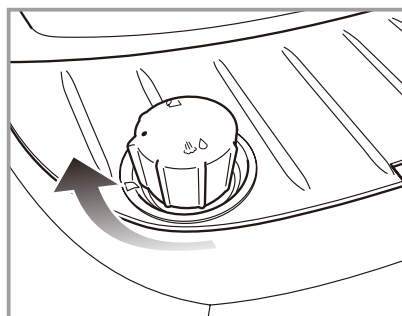
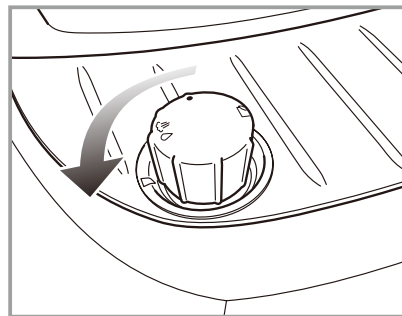
1 容器に冷たいミルクを1/3ほど入れます。

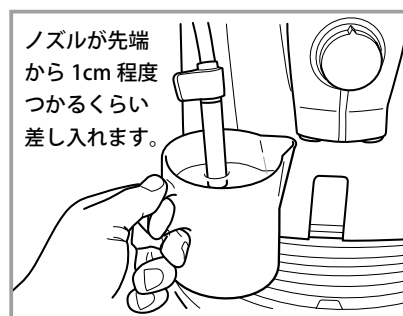
2 スチーム・給湯ノズルの下に空の容器を置いてください。

3 給湯ボタンが消灯していることを確認してください。

点灯していたらボタンを押して消灯させます。

4 スチーム・給湯ノブをの位置まで回し、安定してスチームが供給されるまでお待ちください。

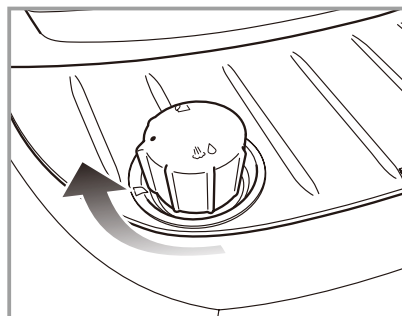
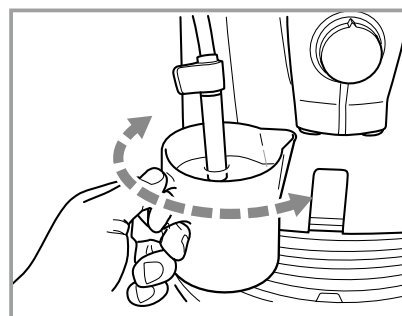
 警告

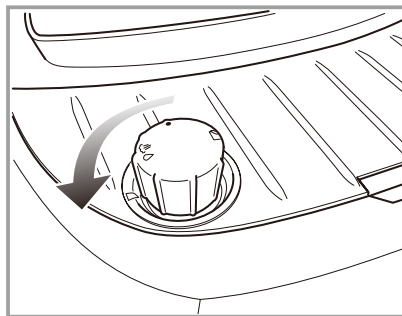
はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてスチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。
ヤケドの原因になります。

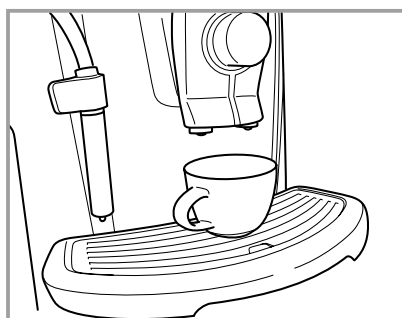
メモ スチームの出始めではノズル内に残っている水が出ます。
ミルクを泡立てる前に２～５を行うとミルクが薄まることがありません。

5 スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブを●まで戻してください。

6 スチーム・給湯ノズルをミルクを入れた容器に浅く差し入れます。

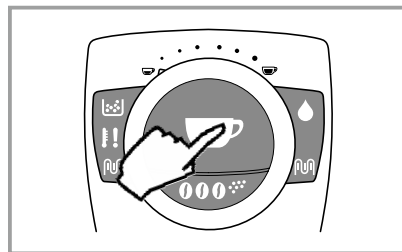
⚠ 注意	操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。 ヤケドの原因となります。

7 スチーム・給湯ノブを♨💧の位置まで回します。

ミルクの泡立てが始まります。

!注意 ミルクの飛びはねにご注意ください。

8 ミルクの泡立て中は、容器をゆっくり回します。

9 泡立てが終了したら、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

!注意 泡立てが終わったら、スチーム・給湯ノズルをよくふき、スチームを少し出してノズルの中のミルクを吹き飛ばしてください。

10 カプチーノをいれるカップにミルクフォームを入れます。

11 ミルクフォームの入ったカップをコーヒー抽出口の下に置きます。

12 コーヒー抽出量設定ダイヤルをエスプレッソに合わせて☕ボタンを押します。

自動的に抽出が始まります。

ミルクアイランド（オプション）を使ってカプチーノを入れる

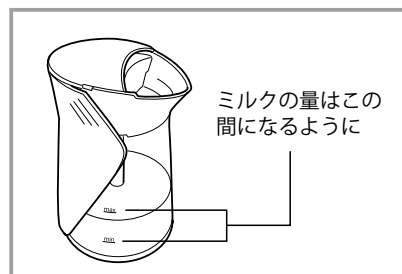
ミルクアイランド(オプション)を使って、ふわふわのミルクフォームを簡単に作ることができます。

注意 取付方法などは、事前にミルクアイランドの取扱説明書をよくお読みください。

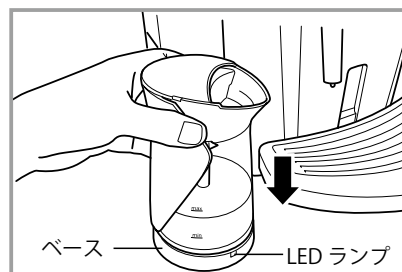
注意 使用後は、ミルクアイランドをよく洗浄してください。

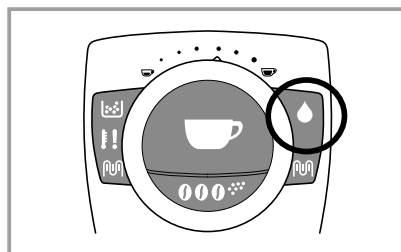
メモ 最上のカプチーノを作るために、0～8℃の冷たいミルクを使用してください。

1 カラフェにミルクを入れます。

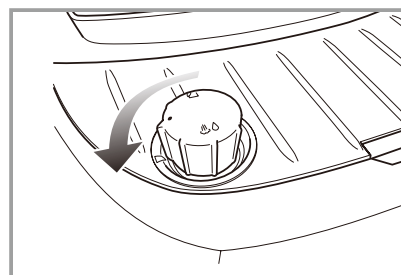
注意 液面がMINとMAXの間になるようにミルクを入れます。

2 カラフェをベースの上に置きます。

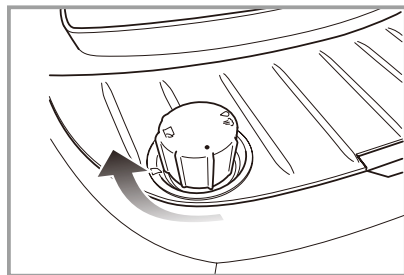
メモ カラフェを押し回すように差し込んでください。

注意 ベースのLEDランプが赤色から緑色に変わったことを確認してください。

3 給湯ボタン💧が消灯していることを確認してください。

点灯していたら💧ボタンを押して消灯させます。

4 スチーム・給湯ノブを◪の位置まで回します。

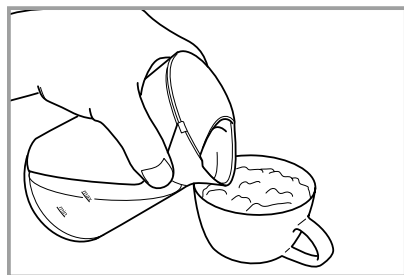
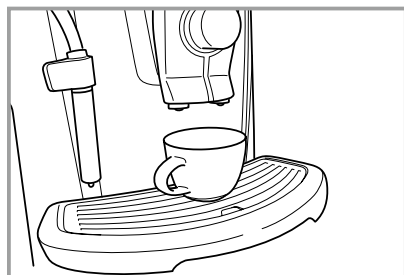
しばらくするとミルクの泡立てが始まります。

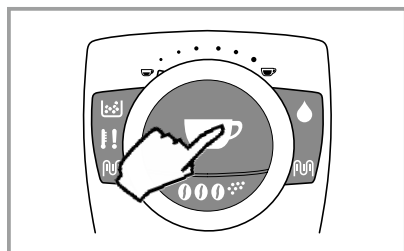
コーヒーを入れる

5 ミルクがお好みの状態まで泡立ったら、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

メモ ミルクは泡立つと約２倍の量になります。

6 黒いハンドル部分を持って、ベースを押さえながらカラフェを外します。

カラフェを回してミルクフォームを均一にします。

7 カラフェをゆっくり回しながら、カップへミルクフォームを注ぎます。

メモ ミルクの泡がカラフェ内に残ることがあります。
スプーンですくってください。

8 ミルクフォームの入ったカップを抽出口の下に置きます。

9 コーヒー抽出量設定ダイヤルをエスプレッソに合わせて ボタンを押します。

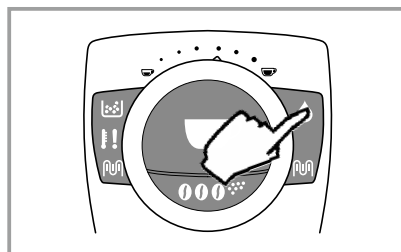
自動的に抽出が始まります。

お湯を入れる

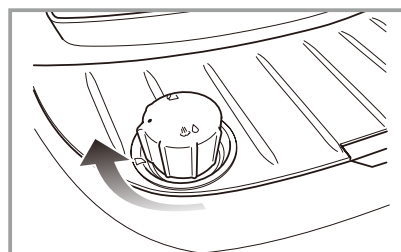
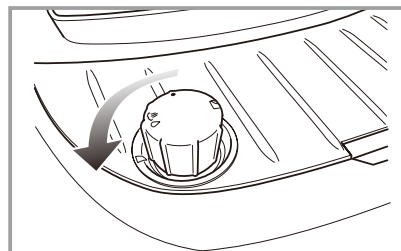
⚠ **注意**	操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。 ヤケドの原因となります。

メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

1 カップを置きます。

2 給湯ボタン💧を押します。

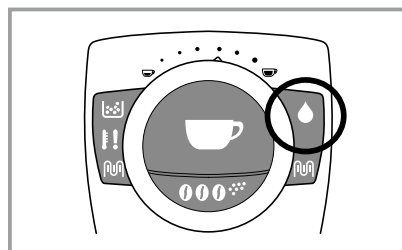
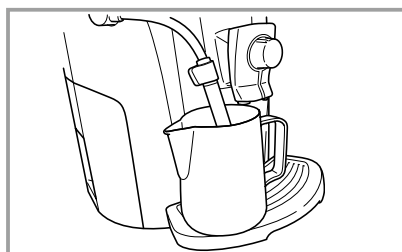
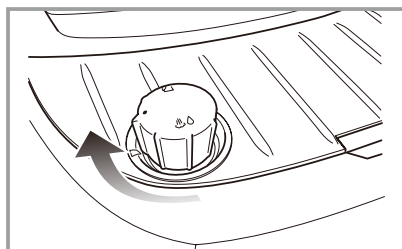
💧ボタンが点灯します。

3 スチーム・給湯ノブを♨💧の位置まで回すと、スチーム・給湯ノズルからお湯が出ます。

⚠ **警告**	はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてお湯が出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。 ヤケドの原因になります。

4 お湯を止めるときは、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

ドリンクを温める

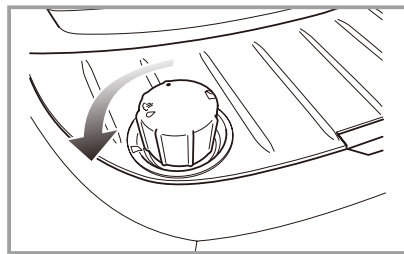
⚠ **注意**	操作中、スチーム・給湯ノズルは高温になるので、素手で触れないでください。 ヤケドの原因となります。

メモ スチーム・給湯ノズルに触れる場合は、黒いゴムのグリップ部分をお持ちください。

1 **給湯ボタンが消灯していることを確認してください。**

点灯していたらボタンを押して消灯させます。

2 **スチーム・給湯ノズルの下に空の容器を置いてください。**

3 **スチーム・給湯ノブを の位置まで回し、安定してスチームが供給されるまでお待ちください。**

警告	はじめに少量のスチームとお湯が噴出し、続いてスチームが出てきます。スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。 ヤケドの原因になります。

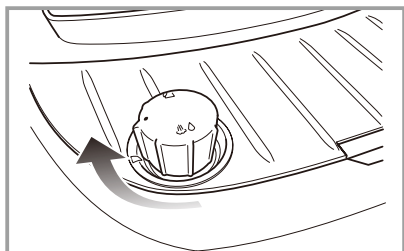
メモ スチームの出始めではノズル内に残っている水が出ます。
ドリンクを温める前に２～４を行うとドリンクが薄まることがありません。

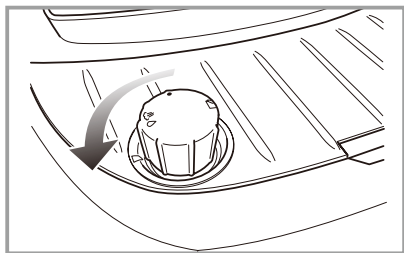
4 スチームが安定して出てきたらスチーム・給湯ノブを●まで戻してください。

5 温めたいドリンクが入った容器を、スチーム・給湯ノズルの下に置きます。

スチーム・給湯ノズルを温めたいドリンクが入った容器に深く差し入れます。

6 スチーム・給湯ノブを♨💧の位置まで回すと、スチームが出ます。

警告	スチーム・給湯ノズルの近くに手を置かないでください。 ヤケドの原因になります。

スチーム・給湯ノズルをドリンクに深く沈めながら、容器をゆっくり回します。

7 ドリンクが温まったら、スチーム・給湯ノブを●の位置まで戻します。

!注意 ドリンクの温めが終わったら、スチーム・給湯ノズルをよくふき、スチームを少し出してノズルの中のドリンクを吹き飛ばしてください。

日常のお手入れ

ブルーイングユニット以外の洗浄

１日の終わりに必ず実施してください。

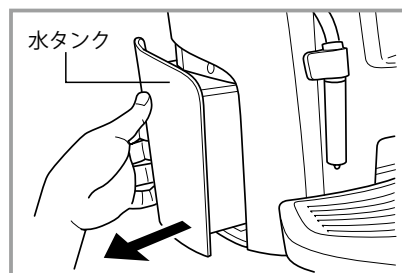
本製品を清潔にお使いいただくために、毎日必要なお手入れがあります。

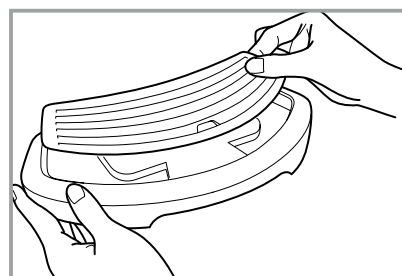
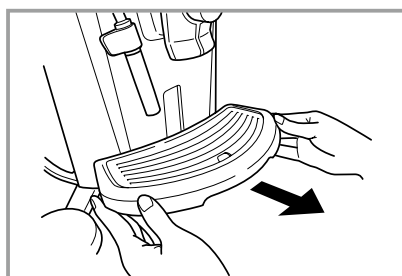
⚠ 警告	お手入れの前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。

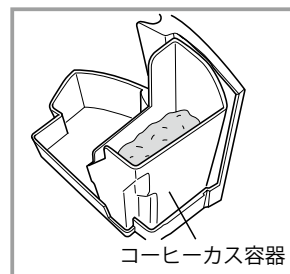
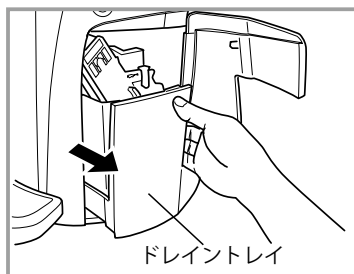
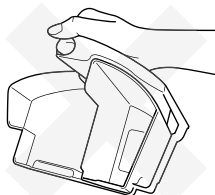
⚠ 警告	本製品に水をかけたり、水に浸さないでください。電気部品に水が入り、故障の原因になります。

!注意 電源スイッチを切った状態でコーヒーカスを取り除くと、カスを排出する回数がリセットされません。そのために２, ３杯抽出しただけでのカス捨て警告ランプが点灯することがあります。

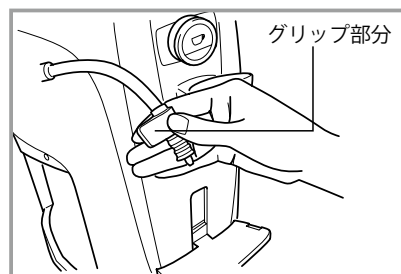
1 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 水タンクと水タンクカバーを本体から外して水洗いします。

3 ドリップトレイを外し、たまった排水を捨てて水洗いします。

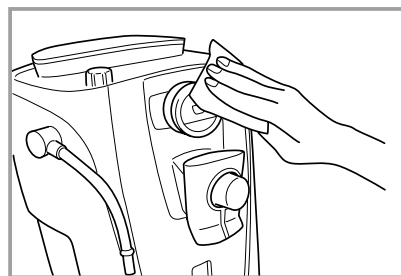
お手入れ

4 サイドドアを開けてドレイントレイを外し、コーヒーカス容器にたまったコーヒーカスと排水を捨てて水洗いします。

⚠ **注意**

コーヒーカス容器はドレイントレイに固定されていません。傾けたときにドレイントレイからコーヒーカス容器が外れることがありますから注意してください。

5 スチーム・給湯ノズルの外筒部分と、グリップ部分（黒いつまみ）を外して水洗いします。

⚠ **注意**

作業はスチーム・給湯ノズルが十分にさめてから行ってください。お湯やスチームを 出した直後はスチーム・給湯ノズルが高温になっているため、ノズルに触れるとヤケドの原因となります。

6 取り外して水洗いした部位が乾いたら元のように取り付けます。

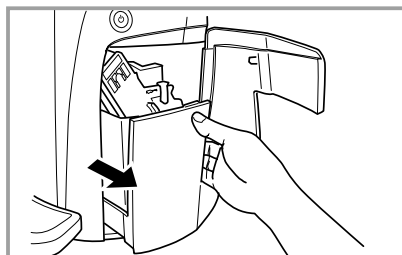
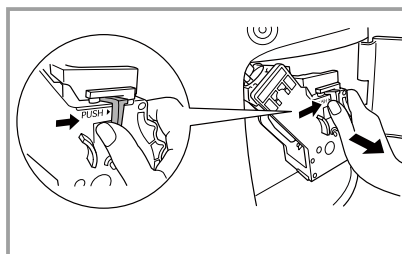
7 コントロールパネルを湿らせて固くしぼった布で拭きます。

お手入れ

ブルーイングユニットの洗浄

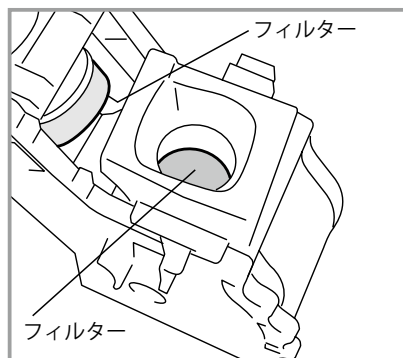
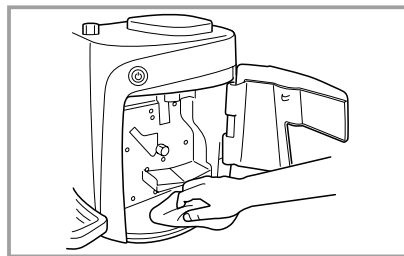
１日の終わりに必ず実施してください。

警告　ブルーイングユニットの正確な動作に支障をきたす恐れがあるため、洗剤で洗わないでください。また、食器洗い機でも洗わないでください。

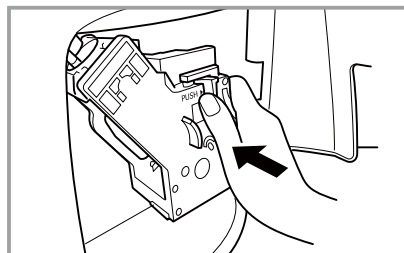
!注意 ブルーイングユニットは、グリースを流さないように必ず水で洗ってください。

1　サイドドアを開き、ドレイントレイを外します。

2　プッシュボタンを押して、ブルーイングユニットを取り外します。

3　ブルーイングユニットを流水で洗って、乾燥させます。

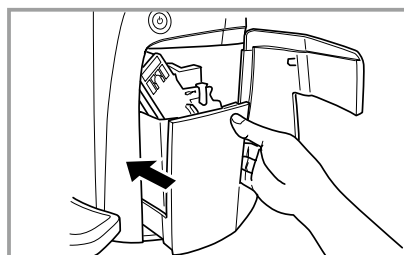
メモ　特にフィルター（メッシュ）の部分は、コーヒーカスが残っていると詰まりの原因になる為、念入りに洗ってください。

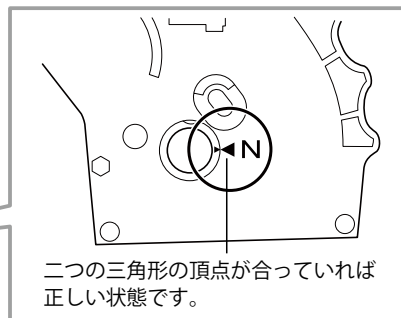
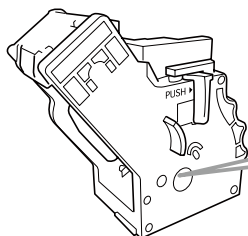
注意　お湯や洗剤は使用しないでください。グリースが流れて動作不良を起こすことがあります。

4 ブルーイングユニットが収まっている箇所を乾いた布で拭きます。

5 ブルーイングユニットをセットします。きちんと装着された場合はカチッと音がします。

!注意 プッシュボタンは押さないでください。

!注意 ブルーイングユニットがうまくセットできないときは次頁の「ブルーイングユニットをセットする前に確認してください」を参照してください。

6 ドレイントレイとコーヒーカス容器をセットします。

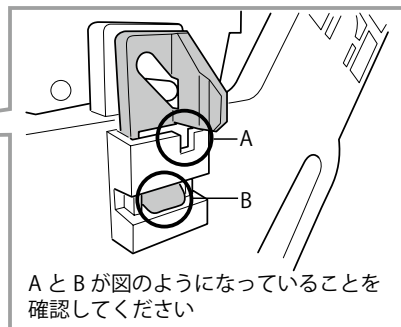
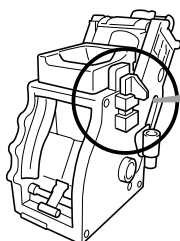
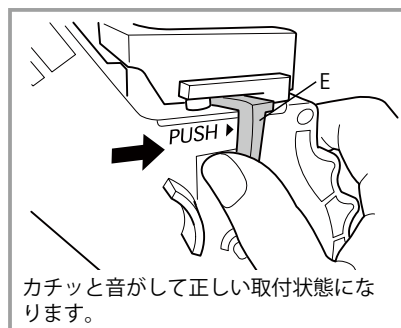
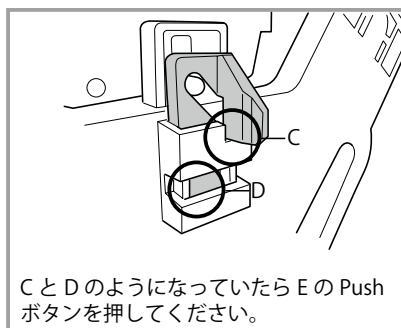
7 サイドドアを閉じます。

お手入れ

ブルーイングユニットをセットする前に確認してください

1 ブルーイングユニットが停止位置にあることを確認します。

2 矢印の部品が正しい位置にあることを確認します。

本体から取り出したときにフックの作用により、上部に位置してしまうことがあります。

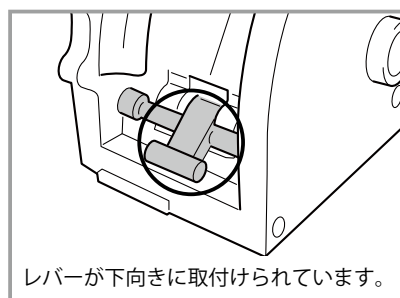
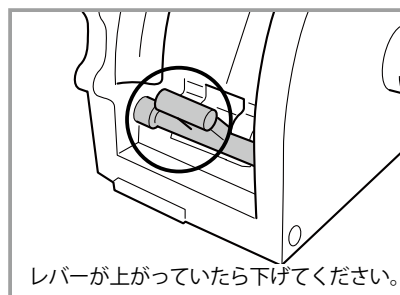
部品が外れている状態

お手入れ

3 ブルーイングユニットの後ろの部分のレバーは、ユニットのベースに接触しているか確認してください。

正しい取付状態

レバーが下向きに取付けられています。

誤った状態

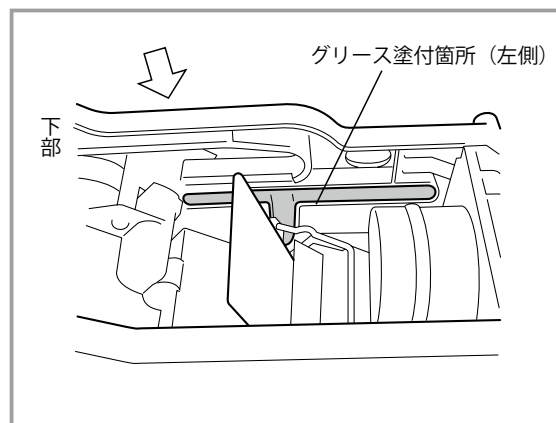
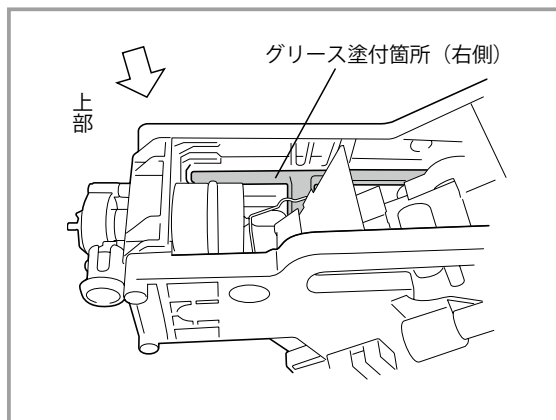
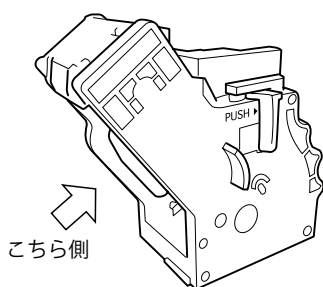
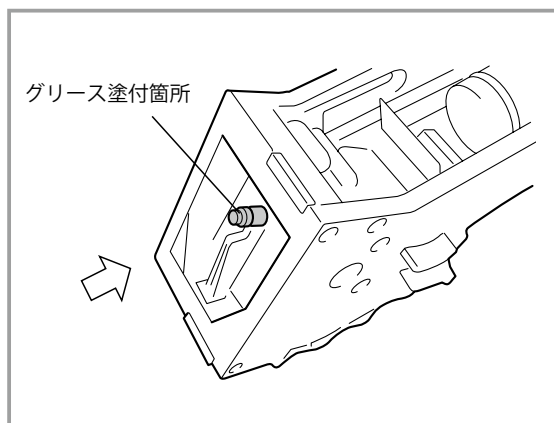
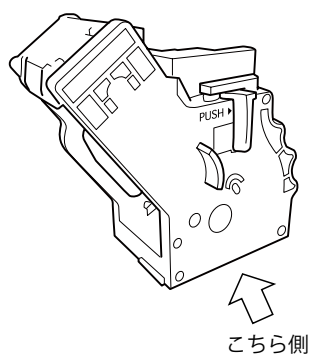
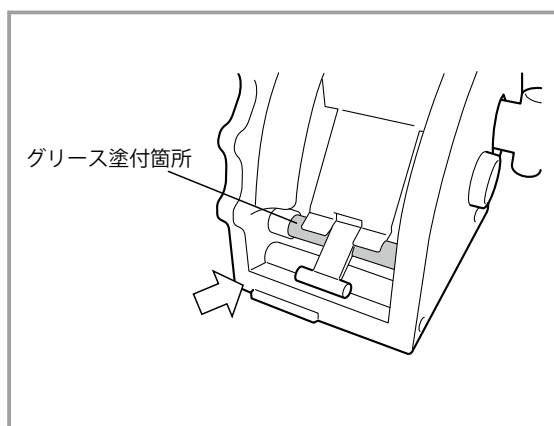
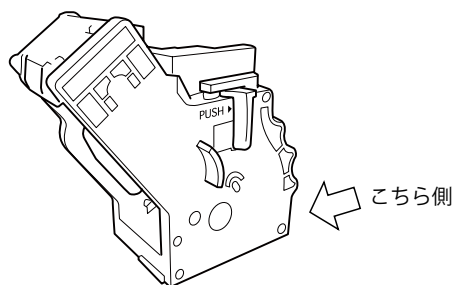
レバーが上がっていたら下げてください。

ブルーイングユニットのグリース塗付

注意	ブルーイングユニットは、3ヶ月に一度、もしくは、約500杯コーヒーを抽出する毎にグリースを塗付してください。 おこたると動作不良を起こす恐れがあります。

グリースの塗付は3箇所あります。以下の塗付箇所に付属のサンプル品を綿棒などで塗付してください。

メモ **サエコ　ブルーイングユニット用グリースは口に入っても問題のない成分でできています。**

メモ **サエコ　ブルーイングユニット用グリースは本製品のご購入先でお求めください。**
また弊社ホームページからもご注文いただけます。
www.saeco.jpn.com

1 内部両サイドのレール（溝）部分

2 底部ピン部分

3 背面のレバー部分

ボイラー除石灰の実施

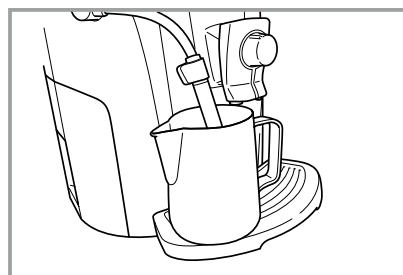
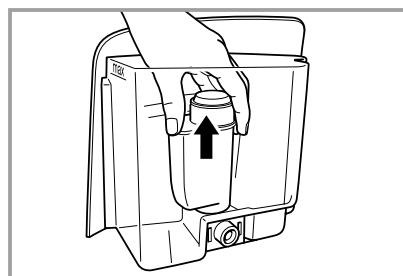
長期間使用していると内部部品のボイラーに、水に含まれる石灰成分が付着します。それを取り除くために、のランプが点滅したら実施してください。除石灰作業はプログラムで自動的に行います。

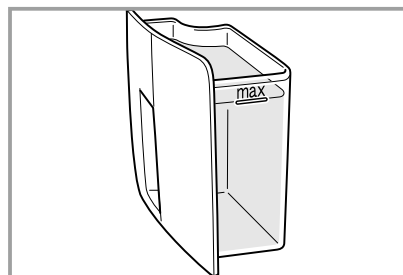
注意 除石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。故障の原因になります。

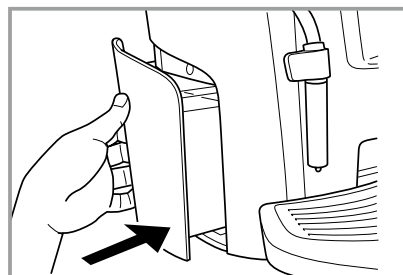
注意 のランプが点滅したら除石灰作業を必ず実施してください。実施しないと石灰が詰まり故障の原因となります。

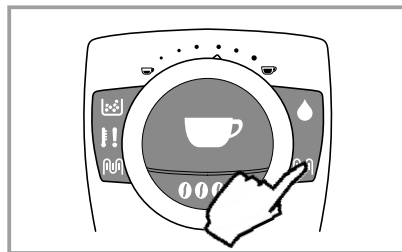
メモ 除石灰剤にはサエコ デカルリキッドをお勧めします。

メモ 除石灰作業が終了するまで約40分かかります。実施中はマシンのそばを離れないでください。

1 スチーム・給湯ノズルの下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

2 水タンクを一度空にし、水タンク内部に装着されているインテンザを外します。

3 水タンクにサエコ デカルリキット1本分を入れ、水を必ずMAXのすぐ下まで補充してから本体にセットします。

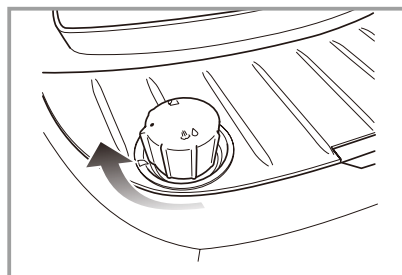
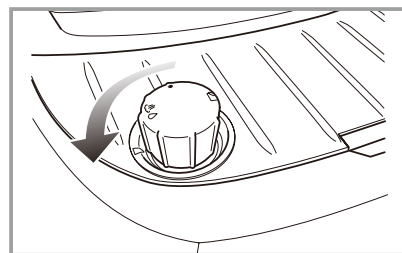
!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

注意 デカルリキッドが目に入ったときは、すぐに水で十分洗い流してください。
デカルリキッドは口に入れないでください。
万一飲み込んだときはすぐに水または牛乳を飲ませ、デカルリキッドを持参し、医師に相談してください。

メモ デカルリキッドのご購入は本製品のご購入先でお求めください。
また弊社ホームページからもご注文いただけます。
www.saeco.jpn.com

4 除石灰ボタン[除石灰アイコン]を６秒以上押し続けて除石灰ランプを点灯させます。除石灰プログラムモードになります。

メモ プログラムモードとは適温ランプ❗が消灯し、除石灰ランプ[除石灰アイコン]が点滅から点灯に変わった状態を示します。

5 スチーム・給湯ノブを[スチーム・給湯アイコン]の位置まで回します。

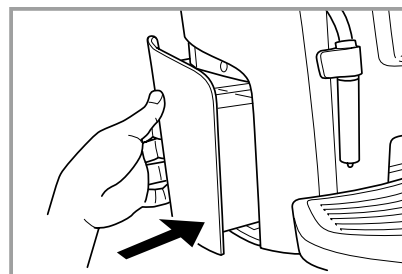
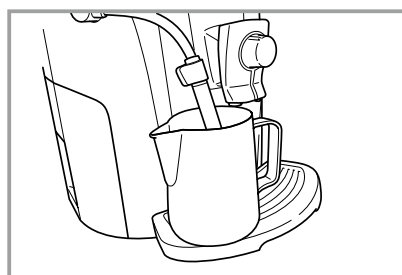
除石灰液は一定の間隔をあけて、スチーム・給湯ノズルから排出されます。

途中で容器にたまった水を捨てる場合は､スチーム・給湯ノブを●に回してください。排出が一時的に止まります。

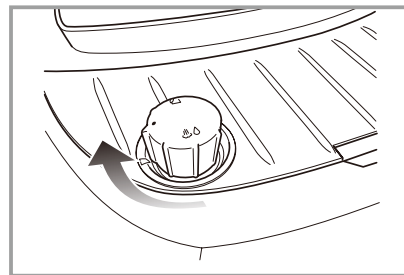
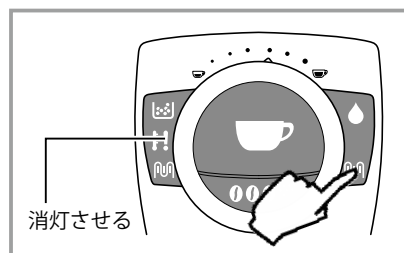
再度容器をスチーム給湯ノズルの下に置いたら､スチーム･給湯ノブを[スチーム・給湯アイコン]に回すと排出を再開します。

6 除石灰液がなくなると、警告ランプ❗が点灯します。スチーム・給湯ノブを ● まで戻してください。

7 水タンクを外して、除石灰剤が残らないようにきれいな飲料水でよくすすぎます。すすぎが終わったら必ずMAXのすぐ下まで水を入れて、本体にセットします。

❗注意 水の量は、水面がMAXの下にくるように入れます。

❗注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

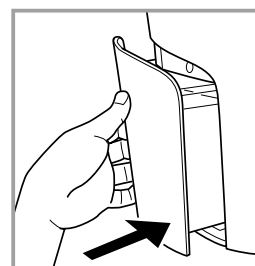
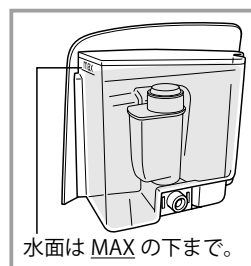
メモ 水タンクをセットすると❗の点灯は自動的に消えます。

8 スチーム・給湯ノズルの下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

9 スチーム･給湯ノブを ♨💧 の位置まで回します。

水タンクが空になるまで、お湯を出してください。
途中で容器にたまった水を捨てる場合は､スチーム・給湯ノブを●に回してください。排出が一時的に止まります。

再度容器をスチーム給湯ノズルの下に置いたら､スチーム･給湯ノブを♨💧に回すと排出を再開します。

10 水タンクが空になり、ススギ作業が終了すると、除石灰ランプは自動で消灯し、次に警告ランプ!が点灯します。除石灰ボタンを６秒以上押し続けて警告ランプ!を消灯させせます。警告ランプ!の消灯を確認後、スチーム・給湯ノブを●位置に戻してください。

11 水タンクに水を入れて、本体に取り付けます。

!注意 インテンザを装着してください。

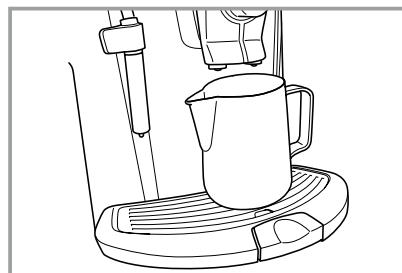
!注意 空気抜き（p15参照）をしてください。

お手入れ

本体内部の水経路の洗浄

ブルーイングユニット洗浄用のタブレット（サエコ　クリーニングタブレット）を使って、コーヒーの抽出で使用するブルーイングユニットやマシン内部の水経路をクリーニングします。

!注意 ブルーイングユニットの洗浄(P33)を行って、水気を拭き取ってから洗浄作業を実施してください。特にフィルター部分に付着しているコーヒーカスは念入りに除去してください。除去せず洗浄作業を実施した場合はフィルターに詰まりなどが発生し故障の原因となります。

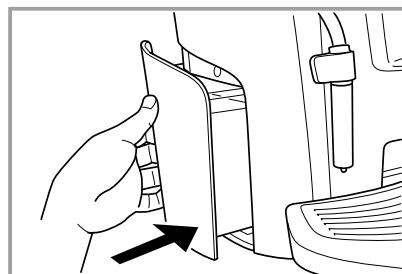
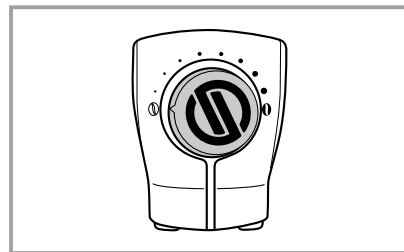
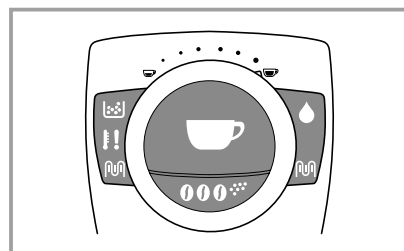
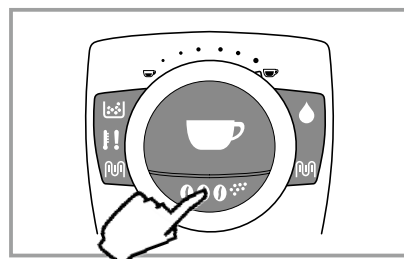
!注意 洗浄サイクルの目安として、２週間に１回、又は約100杯コーヒーを抽出毎に実施してください。

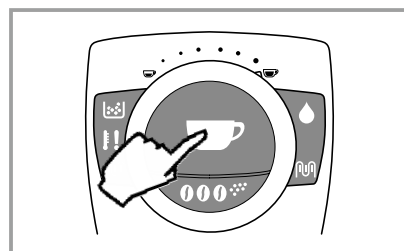
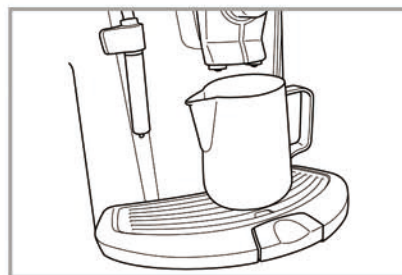
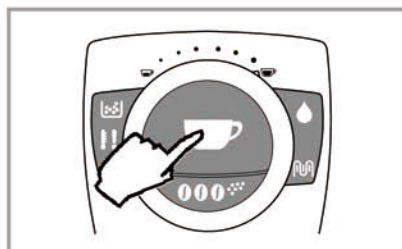
1 コーヒー抽出口の下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

2 付属のブルーイングユニット洗浄用のタブレットを、粉末コーヒー投入口に入れます。

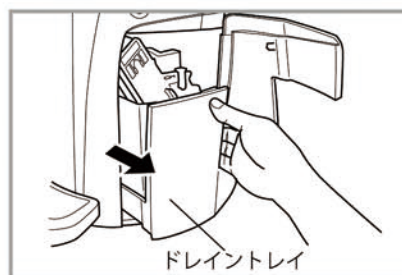
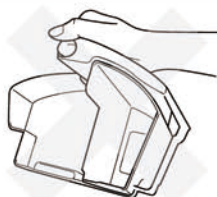
注意	クリーニングタブレットは口に入れないでください。万一飲み込んだときはすぐに水または牛乳を飲ませ、クリーニングタブレットを持参し、医師に相談してください。

3 水タンクに水をMAXのすぐ下まで補充し、本体に取り付けます。

!注意 水タンクのフタを確実に取り付けてください。

お手入れ

4 SBS（サエコ・ブルーイング・システム）を左へ一杯に回してください。

5 コーヒー抽出量設定ダイヤルを右へ一杯に回し、最大抽出量にしてください。

6 アロマボタンを押して、粉末コーヒーアイコン が点灯するまでアロマボタンを押してください。

7 ボタンを押します。約250 ～ 300ccの洗浄液がコーヒー抽出口から排出されます。排出された洗浄液を捨ててください。

お手入れ

8 コーヒー抽出口の下に500cc程度の大きさの容器を置きます。

9 ボタンを押しススギを行います。

10 サイドドアを開けてドレイントレイを外し、排水を捨てて水洗いします。

注意 洗浄後のタブレットが溶け残る場合があります。溶け残ったタブレットはコーヒーカス容器へ落ちますので、捨ててください。

コーヒーカス容器はドレイントレイに固定されていません。傾けたときにドレイントレイからコーヒーカス容器が外れることがありますから注意してください。

故障かなと思ったら

次のようなエラーメッセージが表示されたら「対処」を読んで適切に処置してください。

問題	原因	解決法
マシンの電源が入らない。	マシンが電源に接続されていない。	マシンを電源に接続してください。
	プラグがマシン背後のソケットに差し込まれていない。	プラグをマシンの電源ソケットに差し込んでください。.
コーヒーがぬるい。	カップが冷えている。	お湯でカップを温めてから、ご使用ください。
お湯あるいはスチームが出ない。	スチーム･給湯ノズルの詰まり。	ピンのようなものでスチーム･給湯ノズルの穴の掃除をしてください。
ウォーミングアップに時間が掛かる、あるいはノズルからの水量が少なすぎる。	石灰（スケール）の付着によりマシン内部の水経路が狭まっている。	除石灰作業を行ってください。
ブルーイングユニットが外れない。	ブルーイングユニットの位置が違う。	サイドドアを閉めて、マシンの電源を入れなおすと、ブルーイングユニットが自動的に正しい位置に戻ります。
	コーヒーカス容器がセットされたままの状態である。	まずカス容器を外し、それからブルーイングユニットを外してください。
コーヒーが抽出されない。	水タンクが空。	水タンクを満水にして、お湯を出してください。
	ブルーイングユニットの汚れ。	ブルーイングユニットをクリーニングしてください。
	ボイラー内に空気が溜まっている。	スチーム・給湯ノズルから水を出してください。（空気抜き）
	一杯当たりのコーヒー抽出量を調節するダイヤルの位置が間違っている。	ダイヤルを時計回りに回してください。
抽出速度が遅い。	ボイラー内に空気が溜まっている。	スチーム・給湯ノズルからお湯を出してください。
	ブルーイングユニットの汚れ。	ブルーイングユニットをクリーニングしてください。
コーヒー抽出口からコーヒーが漏れる。	コーヒー抽出口が詰まっている。	柔らかな布もしくは 綿棒などで抽出口（穴）をクリーニングしてください。
コーヒー抽出が始まらない。	豆容器カバーが閉まっていない。	豆容器のカバーを正しい位置にして、しっかりと閉めてください。

上の表にない問題や提示されている方法では解決できない場合は、弊社技術・流通センター（TEL：048－949－2888）へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書

● このサエコエスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
● このサエコエスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
● 本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、5年です。
● 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合せください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
● 43ページの記載に従って製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから下記へご連絡ください。

修理のご依頼は

● 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、43ページの記載を事前にご確認ください。
また、ご依頼の前に技術・流通センターへご相談されることをお薦め いたします。
● 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記まで ご送付ください。（宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様の ご負担となることをご了承ください）

フジ産業株式会社

サエコ製品 サービスセンター　：TEL.048-949-2888

本　社：〒104-0041 東京都中央区新富1-6-1
TEL.03-3523-1811（代表）　FAX.06-6543-7859

平日　　　：AM　9：00 ～ PM 18：00
土・日・祝日：AM 10：00 ～ PM 17：00

修理依頼書

修理依頼日	年　　月　　日
ご依頼主	会社名／店舗名 ご担当者名（　　　　　　）
	住　所
	電話番号
	FAX番号
マシン名	**Talea Giro Plus**（タレア　ジロ　プラス） シリアルNo.【　　　　　　】
故障状況	□ マシン下より水漏れ　□ お湯抽出せず □ 空気抜き表示解除できず　□ スチーム出ず □ 動作時異音　□ 適正温度待ち解除せず □ コーヒー抽出せず　□ グラインダー動かず □ 破損 □ その他（　　　　　　）
見積書提出	□ 要　／　□ 不要
修理完了機のご返送先（ご依頼主と違う場合のみ）	
備　考	

仕様

電源	100V　50/60Hz
消費電力	1500W
本体材料	ＡＢＳ（熱可塑性プラスティック）
サイズ（幅×奥行き×高さ）	320 x 400 x 370 mm
重量	9 Kg
電源コードの長さ	1200 mm
コントロールパネル	フロント（ダイヤル＋ボタン方式）
水タンク容量	1. 7リットル（取り外し可能）
コーヒー豆容器容量	２５０グラム
ポンプ圧力（気圧）	１５気圧（抽出時は９気圧）
ボイラー	ステンレス製
コーヒーグラインダー	セラミックグラインダー
一杯あたりのコーヒー豆量	約７～10.5 グラム
コーヒーカス受け容量	14杯
安全装置	ボイラ圧力安全弁、２重安全サーモスタット

フジ産業株式会社

サエコ製品
サービスセンター　：TEL.048-949-2888

本　　　社：〒104-0041 東京都中央区新富1-6-1
TEL.03-3523-1811（代表）　FAX.06-6543-7859

改良のため、製品の仕様・機能を予告なく一部を変更することがありますのでご了承下さい。

2011. 11